

2025年度 和泉短期大学 シラバス						
授業科目名 科目ナンバー	自立に向けた排泄支援		教員氏名	佐藤 美紀		
	Ⅲ-6-1-1④					
学年	専攻科		開講学期	後期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	専攻科		実務経験	介護福祉士	6年	
テーマ	排泄介護の知識と技術を習得する					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○	
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○	
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	この科目では排泄介助の技術について学びます。多くの技術を体験、グループディスカッションやディベートを用いて高齢者の気持ちにの理解を目指します。利用者本人が尊厳を保持し、主体的に生活を送れるよう根拠に基づいた基礎的な知識・技術を習得します。また、介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務した経験をもとに事例を用いながら解説します。また、実技試験を行い、実技の習得を目指します。国家試験を見据えた小テストを実施します。					
授業の 到達目標	①自立に向けた排泄介助のアセスメントや意義を説明できる					
	②障がいに応じた、排泄介助を使用できる(ポータブルトイレの技術・立ちオムツの技術・尿器を使用した技術を使用することができる)					
	③ICFの視点に基づいた排泄における生活支援について述べることができる					
	④便秘、失禁の種類や高齢者における排泄機能について説明できる					
	⑤排泄介助時における事故や感染症について説明することができる					
テキスト	『生活支援技術Ⅱ』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規					
参考書	介護福祉士国家試験 受験ワークブック2026「下」中央法規					
ポートフォリオ	ワーク7. 8. 9「介護に関する漢字」					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他: コマシラバスの活用				○	
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題 参加度 出席態度等	90	10分ワーク・小テスト40%、実技テスト40%、授業内態度10%			
	その他	10	ワーク10%			

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	自立に向けた排泄介助の意義と目的・排泄に関する物品と尊厳を守る環境について	
	授業外学習	〈課題〉オムツ体験にて排泄についてのレポート提出	55分
第2回	テーマ 内容	ベッド上での全介助の紙オムツ介助の技術・陰部洗浄	
	授業外学習	〈予習〉教科書にて紙オムツでの介助に目を通す 〈復習〉技術の一連の流れを習得する	55分
第3回	テーマ 内容	布オムツの介助技術 立おむつの介助技術・排泄における感染症について	
	授業外学習	〈予習〉教科書にて紙オムツでの介助に目を通す 〈復習〉技術の一連の流れを復習する。排泄介助の留意点についてワークにまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	高齢者に多い排泄の機能障害・排便尿コントロール	
	授業外学習	〈予習〉高齢者に多い排泄の機能障害の種類について調べる	55分
第5回	テーマ 内容	失禁の要因と種類・紙おむつの種類（グループディスカッション）	
	授業外学習	〈課題〉失禁の種類を覚える（10分ワーク）	55分
第6回	テーマ 内容	便秘・下痢・便失禁・頻尿・尿失禁への対応	
	授業外学習	〈課題〉便失禁の種類を覚える（10分ワーク）	55分
第7回	テーマ 内容	トイレへ誘導する方への介助技術（ポータブルトイレへの技術）	
	授業外学習	〈課題〉便秘の種類を覚える（10分ワーク）	55分
第8回	テーマ 内容	褥瘡の誘発部位・原因（グループディスカッション）	
	授業外学習	〈予習〉褥瘡とは何か、画像で調べる 〈復習〉褥瘡の誘発部位・原因についてワークに記入する	55分
第9回	テーマ 内容	褥瘡の支援の仕方について	
	授業外学習	〈予習〉褥瘡を防ぐための福祉用具を調べる 〈復習〉ワークブックにて褥瘡の予防の介護について復習	55分

第10回	テーマ 内容	尿器・差し込み便器の介助・疾患に応じた排泄介助	
	授業外学習	〈予習〉教科書で尿器の種類を調べる　〈課題〉褥瘡・疾患に応じた排泄介助の勉強(小テスト)	55分
第11回	テーマ 内容	ポータブルトイレの介助(全介助・片麻痺)	
	授業外学習	〈予習〉教科書にてポータブルトイレでの介助に目を通す。〈復習〉技術の一連の流れを習得	55分
第12回	テーマ 内容	実技試験(片麻痺の方のポータブルトイレの介助)	
	授業外学習	〈予習〉技術の練習	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ:生活支援とチームアプローチ	
	授業外学習	〈予習〉排泄の介助・食事の介助においてどのような多職種との連携が可能か考えてみよう	55分

課題に対するフィードバックの方法

採点した小テスト、10分ワークは当該学生に開示し、不明点に対する説明を授業内で行う。両テストともに7割に満たない学生は再テストや教員と勉強を行う。